

移送サービスのつどい 2018

2018年の

地域課題

を受け止める

2018年3月4日(日)

13:00~17:00

主催:東京ハンディキャブ連絡会/東京ボランティア・市民活動センター

会場:東京ボランティア・市民活動センター会議室(飯田橋セントラルプラザ10階)

参加費:お一人 2,000 円 ※当日受付にて現金でお支払いください

【基調講演】(13:00~14:40)

我が事丸ごとの地域共生社会って何だ？

～地域包括支援を通して見えてくるもの～

国の目指す地域共生社会って、どんな社会なのでしょう。私たちはどのように受け止めれば良いのか、参加者全員で考えましょう。

講師：今村 登氏（認定NPO法人 DPI 日本会議 事務局次長）

【トークセッション】(15:10~17:00)

1 福祉有償運送の新たな課題

誰もが公共交通機関を利用することができれば、「福祉有償運送」は不要になるのでしょうか？**運転協力者をはじめ事業の担い手が不足する**福祉有償運送の「今」を見つめなおします。

ゲスト：国土交通省旅客課(調整中)

2 タクシー業界からのメッセージ

ライドシェアに対し戦い続けるタクシー業界。東京 2020 大会に向けては、UDタクシーの導入推進とUDドライバー育成に注力中です。**そんな**タクシー業界の「今」をどうとらえているのか。**大いに**聞いてみましょう！

ゲスト：熊谷 敦夫氏（全国ハイヤー・タクシー連合会 業務部長）

【特別企画】(14:50~15:10)

映像で見る当世 UD 事情

2020年の東京オリンピック・パラリンピックや、その後の超高齢社会をも見据え、UD(ユニバーサルデザイン)タクシーやノンステップバスの導入、駅構内のバリアフリー化など、バリアフリー施策の充実化が図られています。「今」、実際に地域は暮らしやすくなっているのでしょうか。**カメラ片手に街に出てみた時の映像をご覧いただきながら、みなさんと一緒に考えてみましょう。**

「移送サービスのつどい」は、移送サービス関係者の集会の老舗である「移送サービスを考えるつどい」「移送サービス研究協議会」と続く流れを引き継ぎ、その成果を踏まえ、より多くの関係者（利用者、運転協力者、運営者など）が気軽に集える場を作ろうと2009年から新たにスタートを切りました。今回で通算30回目を数えます。タイトルに西暦を入れることで、その年々の特色を出したいという思いを込めています。

今回は、“今”にこだわって学びを深めたいと思います。国が進める地域共生社会は私たちの暮らしを豊かに出来るのでしょうか？基調講演でしっかりと学びたいと思います。福祉有償運送の課題も然したる解決策もなく淡々と現状維持で推移しているように見えます。公共交通機関の補完物であるという道路運送法での位置付けがあるので、独自の発展形が見えずらいということが日本の移送サービスの更なる発展を妨げているのではないのでしょうか？国交省をお招きして、今一度、福祉有償運送制度を考察しましょう。

みなさま、今年も多くの方にご参加いただきますようお願い申し上げます。

<お申込先>

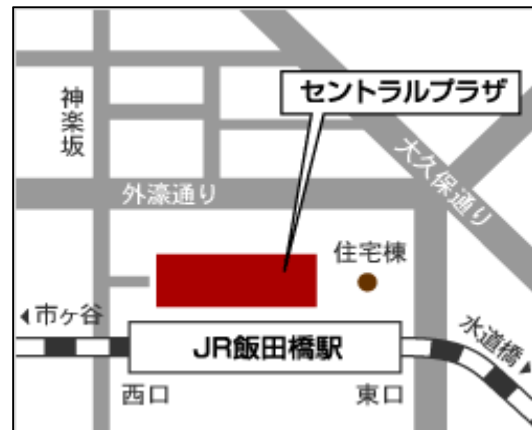
東京ボランティア・市民活動センター（担当：小野）
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1
TEL：03-3235-1171 FAX：03-3235-0050

<企画内容についての問合せ先>

東京ハンディキャブ連絡会 TEL&FAX：03-3206-8939

<会場案内>

JR総武線「飯田橋」駅 西口より徒歩1分
地下鉄有楽町線・南北線・東西線・大江戸線
「飯田橋」駅 B2b 出口直結



お申込先：東京ボランティア・市民活動センター（FAX：03-3235-0050）

移送サービスのつどい2018 お申込み用紙 申込締切：2月28日

お名前		ご所属	
ご住所	〒 都・道・府・県		
お電話 ファックス		メール アドレス	

- *当日の受付も可能ですが、受付をスムーズに行うためにできるだけ事前のお申し込みをお願いいたします。
- *東京ボランティア・市民活動センターのホームページ (<http://www.tvac.or.jp/>) から申し込み可能です。
- *内容、講師、登壇者等は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
- *ご記入いただいた個人情報は主催者が適切に管理し、市民活動に関する研修等事業のご案内に利用させていただきます。個人情報の取扱いに関する方針はホームページをご覧ください。